

令和年8度
夏休み号



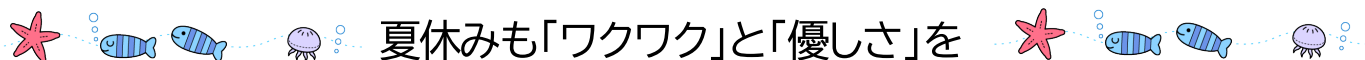
柳崎小だより

令和8年7月17日

学校 HP
QRコード



学校教育目標 ～しなやかな心で、生き生きと学習し、元気よく運動する子～
めざす児童像 <なかよくする子> <自ら考える子> <健康でがんばる子>
めざす学校像 ワクワクと優しさがあふれる柳崎小学校
児童在籍数 男子243名 女子232名 合計475名



校長 川端 浩司

本日、令和8年度第1学期が終了しました。保護者、地域の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。

今年度も、4月から「ワクワクと優しさがあふれる柳崎小学校」を目指して、子供たちの「やってみたい」という主体性を引き出すことを大切にしてきました。5月の学校だよりでもお伝えしました通り、子供のやる気や自律性を育む鍵は、自分で決める「自己決定」の瞬間にあります。この1学期、子供たちは日々小さな選択「自己決定」を積み重ね、自ら学ぶワクワク感を味わってきました。また、多くの場面で困っている友達にそっと手を差し伸べ、失敗しても「大丈夫だよ」と励まし合える「優しさ」と「安心感」に包まれ、子供たちは一歩前に踏み出し、多くのワクワクする学びに巡り合うことも増えてきました。

明日から始まる長い夏休みは、小学生にとって学校だけでは体験できない様々な学びを通して、大きな成長が期待できる大切な時間です。

ここで大切なのは、用意された体験をただこなすのではなく、「何を、どうやって挑戦するか」を子供自身に考え、選ばせることです。「毎日自分で朝食を一品作ってみる」「興味のある生き物をとことん観察する」「地域の歴史を歩いて調べる」など、どんなに小さなことでも構いません。自分の「知りたい」「やってみたい」という知的好奇心に従って決めた挑戦は、子供たちの目を輝かせ、確かな自律性へとつながっていきます。

自分で決めた挑戦だからこそ、途中で壁にぶつかったり、計画通りにいかなかったりすることもあるでしょう。しかし、その試行錯誤のプロセスこそが、夏休みだからこそ得られる一生モノの学びです。ご家庭におかれましては、結果の成否に関わらず、自ら選んで一歩を踏み出したその姿勢をぜひ温かく認め、信頼して見守ってあげてください。

ご家庭や地域という舞台で、子供たちの「ワクワク」がさらにあふれる夏休みとなることを応援しております。2学期の始業式に、自分でやり抜いた自信を胸に、一回り大きくなった子供たちと元気な笑顔で再会できることを、教職員一同楽しみにしています。

